

NEC Safer Cities

安全・安心で効率・公平な
都市の実現に向けて



世界の都市では、直面する社会課題や、将来予見される新たな課題への対策が必要であるとともに、都市機能の高度化や経済発展の機会を生み出す魅力的な都市づくりも求められています。これらを両立し、持続的な都市を実現するためには、都市に関わる各ステークホルダーが、データ利活用基盤を中心としたデジタル技術を最大限に駆使しながら、分野を越えた共創により、多様な変化に柔軟に対応できる都市を目指すことが重要だとNECは考えています。NECは、デジタル技術により安全・安心・効率・公平な社会の仕組みを実現するべく「NEC Safer Cities」に取り組んでいます。本冊子ではこの取り組みを通じてNECが目指しているデータを利活用したスマートシティと、その実現に向けたお客様やパートナーとの様々な共創の取り組みについてご紹介します。



■ スマートシティを実現する「NEC Safer Cities」

NECはこれまで社会ソリューション事業を通じ、新たな社会価値の創造を目指して、様々な社会課題の解決に取り組んできました。特に、指紋認証や顔認証等の生体認証や、映像解析を含むAI（人工知能）、IoT（Internet of Things）といった先端技術を活用し、安全・安心な都市の実現に向けた取り組みを日本国内および海外の政府や自治体、さまざまな企業とともに、世界中で進めてきました。

NECは最新の技術と実績をもとに安全・安心をつなぎ合わせ、都市生活をより豊かなものに変え、人々がもっと自由に健康に、個人の能力を最大限に発揮できる効率・公平な都市を実現する取り組み「NEC Safer Cities」に注力しています。

NEC Safer Cities では、安全・安心な社会を実現する「Public Safety」、デジタル化と仕組みの改革で人にやさしい社会を実現する「Digital Government」、安全で快適な移動体験を実現する「Smart Transportation」、スマートで快適な都市づくりを支援する「City Management」、健康で生き活きと暮らせる社会を実現する「Digital HealthCare」の5つの領域でソリューションを提供していきます。

NECはお客様やパートナーのみなさまとの共創により、本取り組みを推進し、Society5.0を見据えたスマートシティの実現を目指します。

本レポートでは、その実現に向けたNECの取り組みを5つの領域ごとにご紹介します。

Contents

NEC Safer Cities	2
都市をめぐる課題とデジタルが拓く可能性	3
Public Safety	4
City Management	7
Smart Transportation	10
Digital Government	12
Digital Healthcare	14

NEC Safer Citiesを支える技術群

• NEC Smart Connectivity

人・モノ・コトをつなぎ、データに新たな価値を与えます。

• NEC the WISE

複数の技術によって構成された最先端のAI技術群です。

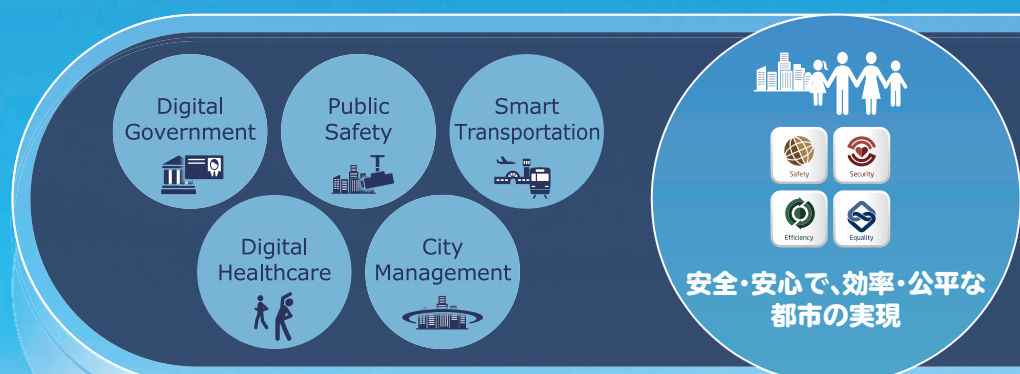
• Bio-IDiom

世界トップクラスもしくはNEC独自の技術で構成された生体認証です。

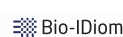
• Cyber Security

データやプライバシーを守ります。

NEC Safer Cities



NEC Smart Connectivity





都市をめぐる課題とデジタルが拓く可能性

デジタルによる都市づくりを日本の大きなチャンスに

現在、日本の都市は少子高齢化、人口減少、労働力不足、社会保障費の増大、社会インフラの老朽化、インバウンドの急増等、様々な課題への対応を迫られています。これらを解決し持続的な都市を実現するために産官学民の連携を通じた都市づくりが一部の都市で始まっています。

一方、世界では都市への人口集中が進み、新興国を含め世界中で先進的な都市づくりの取り組みが進んでいます。都市間の人、モノ、経済の激しい獲得競争を勝ち抜くためには、都市の課題を解決すると共に都市機能の高度化や経済発展の機会を生み出し都市の魅力を高めることが重要となっており、その実現にはIoTやAIをはじめとするデジタル技術の活用が欠かせません。先進的な都市ではデジタル技術により、安全・安心・効率的で快適な都市機能の実現が進んでいます。デジタルを活用した公共・行政サービスやキャッシュレス化、シェアリングなど様々なデジタル・サービスが都市生活の質を高めています。NECも世界中の都市で、そのような取り組みを進めています。

デジタルによる都市づくりは、社会課題の解決と共に、イノベーションの創出による社会・経済の活性化、国際競争力の向上等、日本にとって大きなチャンスをもたらします。人材や財源等、限られたリソースを最大限に活かすために、データの分野横断的な活用や

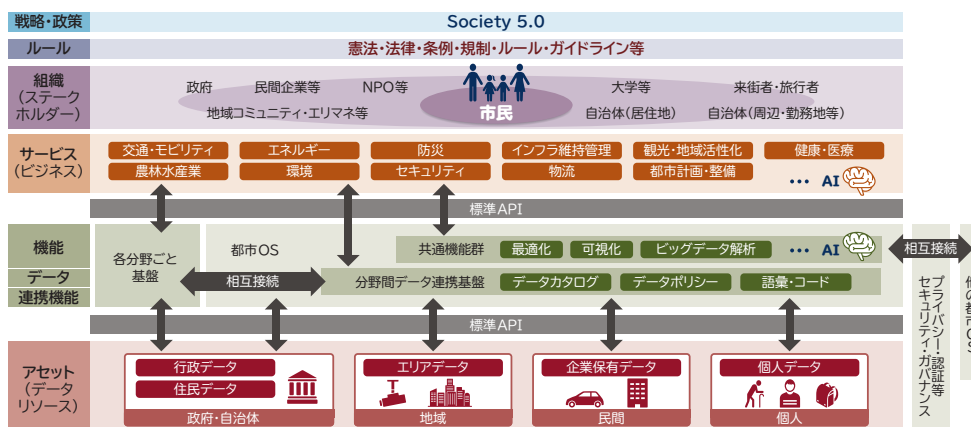
地域の共創が始まっています。さらにSociety5.0を見据えた都市機能の自動化、自律化を産官学民の共創により実現し、新たな持続的な社会の仕組みを構築していくことが重要です。

都市に安全・安心の新たな仕組みの再構築が必要

近年、気候変動等の影響により大規模な自然災害が日本をはじめ世界各地で相次いで発生しています。災害による人命、財産、経済的損失が拡大しており、先進国・新興国を問わず重大な課題になりつつあります。また都市の持続性、安全・安心を脅かす課題も健在化しています。インバウンドを始め都市間の人やモノの移動拡大による渋滞や地域生活への影響、少子高齢化による社会保障費の増大、医療機関や地域のモビリティ維持も大きな課題です。安全・安心は、人々が豊かに暮らすための基盤であり、どんなに素晴らしい都市をつくり上げても、将来を見据えた防災・防犯対策や住民生活を支える社会インフラ・公共サービスが不足している都市は、持続的発展が難しい時代に入りつつあります。ソフト面からのアプローチ等、これまでの発想を超えた災害や防犯対策、健康都市の実現等、新たな仕組みを都市に再構築することが必要です。住み続けられるまちづくりは、SDGs*1においてもゴールの1つに掲げられており、世界中の人々が共通して取り組む課題といえます。

*1 SDGs: Sustainable Development Goals、2015年国連総会で人間、地球及び繁栄のための行動計画として採択された17の目標と169のターゲットからなる持続可能な開発目標

Society 5.0を見据えたNEC Safer Citiesが目指すスマートシティ



出典: COCN2018年度プロジェクト最終報告「デジタルスマートシティの構築」を元に内閣府作成
<https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/190418/pdf/shiryou3-2.pdf>

NEC Safer Citiesが注力する主なSDGs

